２０２１年１月１３日

国際ロータリー第２７９０地区

ロータリークラブ会長・幹事　各位

（写し）ガバナー補佐　各位

国際ロータリー第２７９０地区

ガバナー　漆原　摂子

緊急事態宣言の発令を受けて

謹　啓　新春の候、皆様には　ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

　新型コロナウイルスが日本で初めて見つかってから、間もなく１年になります。その間私達は、この未知のウイルスへの不安はもとより、有識者の見解をはじめ政府・自治体の提言や要請を鑑みた社会生活や家庭生活を送って参りました。このウイルスへの感染を予防するワクチンが日本でも本年２月末から接種開始となるとの話がございますが、現時点では定かではありません。そのような中、今般、コロナ第３波を受けて首都圏１都３県を対象とした緊急事態宣言が発令されました。

　クラブ会長幹事、そして執行部の皆様におかれましては、この１年、例会をはじめロータリーの諸活動につき、大変苦慮されてきたと拝察致します。昨年の公式訪問でも、多くのクラブからお悩みの声を拝聴した次第です。地区内幾つかのクラブは、新型コロナ禍の現状に鑑み、また1月８日の緊急事態宣言を受け、既に本年１月末、あるいは２月７日までの例会をオンライン化したり、取消したりしていらっしゃいます。

　昨年７月の年度スタートの折に、ガバナー月信でも申し上げましたが、今般の緊急事態宣言発令を受け、皆様には、改めて、**会員の皆様の安全を第一に**、密を避け、クラブ活動に必要な最低限の情報を、オンラインや電話・FAX等の手段で共有していただきますよう推奨致します。ロータリーは、顔を合わせての例会が基本であるとのご意見もございますが、現下の状況では、例会取消等はやむを得ない措置です。標準ロータリークラブ定款第７条「会合」第１節「例会」(d)(3)項に基づき例会を取消し、この機会に、会員の皆様各々が、コロナ禍が終息した暁にクラブの地域性やカラーを考慮したどのような活動が可能であるか、じっくりご検討いただきますことも併せてお願い申し上げる次第です。新型コロナウイルスの早期収束が望まれますが、皆様には、情報を正しく理解し、皆様自身は元より、周囲の皆様に対しても適時適切な対応の実践をお願い致します。

謹　白